

# 令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 5

千葉県立京葉工業高等学校 全日制の課程

機械科 電子工業科 設備システム科 建設科

## 1 期待する生徒像

次のア～エの要件を満たす者

ア 当該学科を志願する理由が適切で、将来の目標が明確な生徒。

イ 人物に優れ、高校生活に意欲的に取り組む意志がある生徒。

ウ 中学校生活等において、特に積極的な取り組みやスポーツ活動、文化活動等において優れた実績のある生徒。また、入学後も継続してその活動に取り組む意志があること。

エ 高校生として相応しい、服装、頭髪、態度等を備えている生徒。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名程度・評価者3名の集団面接(1グループ約20分)

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合には、審議の対象とする。

### (2) 調査書 アの数値に、イ～キについて加点(90点満点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の評定	算式1で求めた値で評価する。
イ 教科の学習の記録	数学、理科、技術・家庭の評定の全学年の計が、12以上で2教科ある場合は加点する。 評定1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
ウ 出欠の記録	3か年皆勤及び欠席が9日以内の場合は加点する。 3年間で欠席が30日以上の場合は、審議の対象とする。
エ 行動の記録	が付いている項目により加点する。
オ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事等の活動において、優れた実績等について加点する。
カ 部活動の記録	部活動等の取組や実績について加点する。
キ 特記事項	取得資格等の実績について加点する。
ク 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 面接〔105点満点〕

3名の評価者が、次の7つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価をする。

aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価(各35点満点)を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
志望の動機	志望の動機が明確である。
興味関心	自分の進路や志望学科に関する興味関心・意欲がある。
学習意欲	学習に対して「前向きな姿勢」、「安全意識」等がある。
特別活動	特別活動への関心・意欲がある。
自己表現	質問事項をよく理解し、適切に答えられている。
自己理解	中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。
身だしなみ・態度	服装、頭髪、言動、態度等がしっかりしている。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	(135 + - m)点	90点	105点	(830 + - m)点

(算式1) : 県が定める評定合計の標準値95  
m : 中学校評定合計平均値

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

## 5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。